

第 46 回えいが部「her／世界でひとつの彼女」(2013 年)

近未来のロサンゼルスで、主人公のセオドア・トゥオンブリーは代筆ライターとして働いていた。

妻・キャサリンと別れてしまい、行き場のなくなった性欲を空しくも発散する日々。そんなある日、セオドアは世界初の人工知能型 OS であるサマンサを手に入れる。パソコンに OS を導入し、サマンサの声を聴き、その生き生きとしたやり取りの中で少しずつ笑顔を取り戻していく。サマンサとのバーチャルデートを繰り返していくうちに、お互いに惹かれ合っていく。セオドアは、ある日ハーバード大学出身の女性とデートするが、結婚に積極的すぎる相手に圧倒され、上手くいかずに終わってしまう。その夜、傷心のセオドアと会話をするサマンサ。彼は、一層人工知能型 OS である彼女に惹かれていき、バーチャルセックスの妄想をする。その夜 2 人は「結ばれた」のだった。色を失った彼の日々は少しずつ希望の光を取り戻していくのだった・・・。

監督：スパイク・ジョーンズ

- ・マルコヴィッチの穴 Being John Malkovich (1999 年) 監督
- ・ヒューマン・ネイチャー Human Nature (2001 年) 製作
- ・アダプテーション Adaptation (2002 年) 監督
- ・脳内ニューヨーク Synecdoche, New York (2008 年) 製作
- ・かいじゅうたちのいるところ Where The Wild Thing Are (2009 年) 監督
- ・ウルフ・オブ・ウォールストリート The Wolf of Wall Street (2013 年) 出演
- ・ジャッカス/クソジジイのアメリカ横断チン道中 (2013 年) 製作

出演 セオドア・トゥオンブリー・ホアキン・フェニックス

- ・スペースキャンプ SpaceCamp(1986) マックス リーフ・フェニックス名義
- ・バックマン家の人々 Parenthood(1989) ゲイリー・バックマン＝ランプキン
- ・グラディエーター Gladiator(2000) コモドゥス帝
- ・サイン Signs(2002) メリル・ヘス
- ・ヴィレッジ The Village(2004) ルシアス・ハント
- ・容疑者、ホアキン・フェニックス I'm Still Here(2010) 本人
- ・ザ・マスター The Master(2012) フレディ・クイエル
- ・インヒアレント・ヴァイス Inherent Vice(2014) ラリー・スポーテッロ
- ・ビューティフル・デイ You Were Never Really Here(2017) ジョー
- ・ジョーカー Joker(2019) アーサー・フレック / ジョーカー

エイミー・エイミー・アダムス

- ・キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン Catch Me If You Can(2002) ブレンダ・ストロング
- ・魔法にかけられて Enchanted(2007) ジゼル
- ・ナイト ミュージアム 2 Night at the Museum 2(2009) アメリア・イアハート
- ・ザ・ファイター The Fighter(2010) シャーレイク
- ・ザ・マスター The Master(2012) マリー・スー・ドッド
- ・アメリカン・ハッスル American Hustle(2013) シドニー・プロッサー
- ・ビッグ・アイズ Big Eyes(2014) マーガレット・キーン
- ・バットマン vs スーパーマン ジャスティスの誕生(2016)

Batman v Superman: Dawn of Justice ロイス・レイン

- ・メッセージ Arrival(2016) ルイーズ・バンクス博士
- ・バイス Vice(2018) リン・チェイニー

キャサリン・ルーニー・マーラ

- ・エルム街の悪夢 A Nightmare on Elm Street(2010) ナンシー
- ・ソーシャル・ネットワーク The Social Network(2010) エリカ・オルブライト
- ・ドラゴン・タトゥーの The Girl with the Dragon Tattoo(2011) リスベット・サランデル
- ・セインツ -約束の果て- Ain't Them Bodies Saints(2013) ルース・ガスリー
- ・キャロル Carol(2015) テレーズ・ベリベット
- ・マグダラのマリア Mary Magdalene(2018) マグダラのマリア

サマンサの声 - スカーレット・ヨハンソン

主人公セオドアと「サマンサ」の関係には、スパイク・ジョーンズ監督の個人的思い出がかなり反映されているようです。スパイク・ジョーンズ監督は、1999年から2003年まで同じく映画監督のソフィア・ Coppola監督と結婚していました。あの「ゴッドファーザー」のフランシス・フォード・ Coppola監督の娘です。その結婚していた頃の思い出を、ソフィア監督は「ロスト・イン・トランスレーション」という映画にして発表しています。忙しい夫との擦れ違いで、日本で孤独に過ごすアメリカ人女性の物語だったのですが、その主演女優がなんとスカーレット・ヨハンソンなんです。今回「her」では、同じ女優さんをあえてキャスティングしていると思われます。映画のテーマも、孤独と恋愛ですから、「her」は、ソフィアから送られたメッセージにスパイク監督が自分なりの表現で答えたものと言えます。この映画を観た人は、是非「ロスト・イン・トランスレーション」も比較して観てみると面白いと思います。

訃報：チャドウィック・ボーズマン(ブラックパンサー)43歳 2020年8月29日